

# 更生保護 あおもり

【第85号】

発行日 平成30年4月16日  
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会  
 青森県保護司会連合会  
 青森市長島1-3-25  
 電話 017(776)6419



## 着任のごあいさつ

青森保護観察所

もとひら としゆき  
 所長 本平 利幸

平成30年春の人事異動により、北海道地方更生保護委員会から転任してまいりました。

これまで、北海道内の勤務がほとんどで、青森保護観察所の勤務は初めてになりますが、青森県の更生保護関係者の皆さんとご一緒させていただくことに感謝し、はなはだ微力ではございますが、管内の更生保護事業の発展、安全・安心な地域づくりに全力を尽くす所存ですので、御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年は、平成28年12月に成立・施行した「再犯の防止等の推進に関する法律」における、地方再犯防止施策の推進に向けた地方公共団体と連携した取組及び地域社会に対する情報発信の強化が更生保護行政の重要な課題となっています。

更生保護を始めとする犯罪防止を目的とする関係機関・団体の各種取組の成果により、刑法犯認知件数は年々減少し、平成28年には戦後最小となりましたが、一方、検挙者に占める再犯



藤崎町・水木熊野宮「狛犬と並ぶ熊の石像」

中世の時代、この地に築かれた浪岡・北畠氏の主要な拠点である溝城城（水木城）の館神（守り神様）として創建され、永正17年（1520年）、恵心僧都という徳の高い坊さんによって勧請されたと伝えられています。また正面の左右の大鳥居には人の顔を思わせるような昇り龍と降り龍が刻まれています。

本年度、青森県更生保護大会の会場は藤崎町の予定です。

者の割合は上昇しており、約50%を再犯者が占めていることから、安全・安心な生活を確保するためには、この「再犯」を防止することが重要になってきます。

法が成立した翌年の平成29年から、7月を「再犯防止啓発月間」とし、“社会を明るくする運動”を始め、広報啓発活動等を効果的に展開することにより、地域住民の更生保護に対する一層の理解と協力を得る取組が始まりました。各地方公共団体の皆様には、これまでも多方面にわたり多大な協力を得ながら活動を続けてまいりましたが、より強力な連携により、より多くの人に更生保護に係わっていただくきっかけになると思われます。

話題は変わりますが、先日、青函トンネル開業30周年の新聞記事を目にしました。それを契機に平成8年から青森地区保護司会と函館地区保護司会のツイン提携が結ばれ、長年に亘り交流を深めていると伺っております。青函トンネル開業30周年の節目の年に、更生保護関係機関・団体との交流を更に深め、青森県の更生保護の発展に繋がることを期待しています。



## SST自主研修会で 「褒める」ことを学ぶ

五所川原地区保護司会・研修部会長 相川 順子

平成29年9月20日、講師に片柳光昭氏と他スタッフ2名を迎えて、SST自主研修会を開催しました。

今回の研修では、面接場面で相手を「褒める」ということがうまくできているか、具体的な事例から実際にグループで褒める、褒められる事を体感してみました。面接場面で小さなところを見つけて褒めること、認めてあげることが対象者との関係性を作るために、いかに大事であるかを再確認しました。





# 〈ブロック便り〉



## 〈県央ブロック〉

(青森地区・野辺地地区・むつ下北地区)



### 薬物依存症者からのメッセージ

8月、新聞紙上で「青森ダルク」が周辺住民の理解をなかなか得られないことが報道されました。

10月3日、「むつ来さまい館」において「青森ダルク」笹崎正吾施設長が『薬物依存症者からのメッセージ』と題して、自身とダルクとの関わり、青森市での施設運営の難しさ、そして「今は色々な方と交わっていただき回復と成長を感じて今は充実感を感じている」と結びました。主管する本地区の参加者が26名と少なく、全体でも83名でした。  
(むつ下北地区保護司会)

## 〈弘南ブロック〉

(弘前地区・南黒地区・河南地区)



### 「笑って、頭(こうべ)をめぐらす研修会」

去る昨年9月26日、秋晴れのお寺にて、弘前地区保護司会自主研修会が開催されました。当会保護司会員でもある宝積院住職様のご厚意で禅寺を会場として、NHK「あつぶるワイド」内で青森の方言を使ったお国ごとばで川柳でおなじみの、渋谷伯龍さんを講師に迎え、方言の転訛について深く聞き、一同脳トレとするべく頭をめぐらしました。味わい深い方言を共通語と英語に訳すなど、方言のこぼればなしの楽しさ、いちにちを笑って大事に生きることこそ講師のメッセージでしょう。わかりやすい文字で参加型の研修会も粋な運びで新鮮に参加者には響いた様子でした。(弘前地区保護司会)

## 〈県南ブロック〉

(八戸地区・上十三地区)



### 暴力団の不当要求の手口など

10月2日、十和田湖畔ホテル十和田荘において、前青森県暴力追放県民センター専務理事の今豊氏による「最近の暴力団の情勢と不当要求防止対策について」の講演と「不当要求防止対策について」のDVDを鑑賞しました。DVDでは、清掃業者が起こした過失に因縁をつけ、それ以上の金銭を要求する暴力団の不当要求の手口の巧妙な手段を流しました。その時々の場面への対応をどのようにするか等のアドバイスを、”暴力団等に対する基本的対応要領”で解決できるとするものであり大変有意義がありました。

(上十三地区保護司会)

## 〈県西ブロック〉

(五所川原地区・つがる地区・鰺ヶ沢地区)



### 分科会に分けた研修を実施

今年度初めての試みで3分科会に分かれ、事例発表を実施しました。内容は、第1分科会『高齢者事犯』(鰺ヶ沢地区)、第2分科会『薬物事犯』(五所川原地区)、第3分科会『新任保護司になって～複数担当をして』(つがる地区)。

時間は少々足りなかったようだが、実りある研修でした。研修の担当地区は、3か年計画の輪番制で、今年度は鰺ヶ沢地区、来年度はつがる地区となります。(鰺ヶ沢地区保護司会)

## 平成30年度 第68回 社会を明るくする運動 ポスター

更生保護ボランティアの皆さん  
が、過去に非行をしてしまった木  
ゴちゃんとサラちゃんに温かい心  
をもって寄り添うことで、「犯罪  
や非行をした人も地域の一員であ  
り、彼らの再出発を、地域みんな  
で見守っていこう。」というメッセージ  
を表現しています。

BBSの  
イルカ姉さん

保護司の  
クジラ先生



更生保護女性会の  
オコジョさん

協力雇用主の  
アシカ親方

法務省のホームページ

[社明](#) [検索](#)

## 第67回“社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰式

期日／平成30年1月12日(金)

会場／県観光物産館アスパム(青森市)にて

主催 社会を明るくする運動 青森県推進委員会

### 中央推進委員会(全国優秀賞) に 七戸町立城南小学校 6年島田さん むつ市立田名部中学校2年大林さん

第67回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、県健康福祉部・久保次長（知事代理）のほか、更生保護関係団体の代表が出席されました。

中央推進委員会・日本更生保護協会理事長賞（全国優秀賞）むつ市立田名部中学校2年の大林優沙さん、全国連合小学校長会会長賞（全国優秀賞）七戸町立城南小学校6年島田浩一朗さんが選ばれ、青森県推進委員会では、りんご賞（青森県知事賞）に、板柳町立板柳北小学校6年工藤蒼依さんが選ばれました。



作文コンテストは平成5年（1993）から始まり  
今回で25回目となり、今回は全国  
から小学生141,644点、中学生  
192,152点の応募がありました。  
また県内では小・中学校合わせて  
508点の応募がありました。

青森県更生保護協会では、入賞  
作品集「ひまわり」を作成し、応  
募校や保護司会を始めとした関係  
団体に配付しています。



更生保護関係団体の代表と被表彰者



## 青森県保護司会連合会長表彰【内助功劳】

鳴海友子(青森) 山本ハツエ(弘前)  
 工藤あき(八戸) 小野昭子(南黒)  
 平川智枝子(つがる) 清野道雄(鰺ヶ沢)  
 大山定美(上十三) 鳥谷部真紀子(野辺地)  
 堀内はつえ(むつ下北)

## 協力雇用主に対する法務大臣感謝状(協力雇用主)

株式会社藤本建設 代表取締役社長 長谷川学(青森)

## 特定非営利活動法人青森県就労支援事業者機構会長表彰(協力雇用主会員)

株式会社笛森電機 代表取締役 笛森昭二(八戸)

## 日本BBS連盟会長顕彰【協力功労者】

宮崎秀一(弘前大学) 竹中司郎(専修大学)  
 斎藤史彦(保健大学)

## 東北地方更生保護委員会委員長感謝状【BBS会員】

金澤拓紀(青森)

## 東北地方BBS連盟会長表彰【BBS会員】

平川有希(青森) 相馬正宗(青森)

“社会を明るくする運動”青森県推進委員会委員長感謝状(民間協力者)  
 松尾貴臣(野辺地) 内藤敏子(野辺地)  
 野辺地町立野辺地中学校(野辺地)

## ◎更生保護女性会員

## 法務大臣感謝状

吉田絹恵(おいらせ町)

## 日本更生保護女性連盟会長表彰

柿崎美恵(青森) 進藤一子(青森)  
 長谷川信子(弘前)

## 東北地方更生保護委員会委員長感謝状

浅井良子(青森) 工藤順(黒石)  
 苦米地キミ(十和田) 木村陽子(鰺ヶ沢)  
 赤坂百合子(五戸) 奈良順子(鶴田)

## 東北地方更生保護女性連盟会長表彰

大川田カズ子(青森) 小野栄子(青森)  
 太田愛子(青森) 浦添久江(青森)  
 植木田と弘子(五所川原) 角田洋子(弘前)  
 木山村みわ(五所川原) 斎藤蘭子(五所川原)  
 藤谷幸子(八戸) 加藤恵子(八戸)  
 畑端雪子(黒石) 三浦ツエ(黒石)  
 本池幸江(七戸) 新井山美智子(三戸)  
 菊見幸子(むつ) 下トスエ(七戸)  
 德田トミエ(中泊町) 斎瀬口冬百子(十和田)  
 秋田谷シサ(鰺ヶ沢) 五十嵐テツ子(野辺地)  
 板垣美瑳子(三沢) 西野チヨ(東北町)  
 村上怜子(五戸) 安田牧子(板柳)  
 川村チヨ(つがる市) 野呂やちよ(つがる市)  
 花田淑子(鶴田) 山辺テル(六戸)

## 青森保護観察所長感謝状

石川洋子(青森) 成田京子(青森)  
 中川八千代(青森) 坂本タメ子(青森)  
 野呂秋江(弘前) 工藤フヂエ(弘前)  
 岩谷信子(五所川原) 木村紀子(五所川原)  
 横山京子(五所川原) 高橋麗(五所川原)  
 内城陽子(八戸) 西野圭子(八戸)  
 木村那智子(黒石) 山本アイ子(黒石)  
 馬場悦子(三戸) 中浜ミヨエ(平内)

工藤敦子(大戸) 戸鰐(七戸)  
 阿善サ久君(中泊町) 子代(七戸)  
 荒木かづ子(鰺ヶ沢) 月古充(三沢)  
 関村のぶ子(五戸) 古長(五戸)  
 館村瑜(つがる市) 秋庭ユキ(鶴田)

上明戸友(小戸) 三杉(下モ内)  
 沢崎(米下) 柴(野呂) 沢(野呂)  
 上明戸友(小戸) 三杉(下モ内)  
 沢崎(米下) 柴(野呂) 沢(野呂)

修子(十和田) まり子(むつ)  
 トワ(おいらせ町) あけみ(平川)  
 カツエ(野辺地) さ(東北町)  
 い(板柳) いく子(板柳)  
 のり子(つがる市) 綾子(六戸)

## 青森県更生保護女性連盟会長表彰

一戸(青森) 戸澤(青森) 戸(青森)  
 野宮(前) 崎(前) 春(前)  
 奈良(前) 良(前) 昭(前)  
 逢福(前) 坂(前) 節(前)  
 片(前) 石(前) 和(前)  
 泉(前) 天(前) 石(前)  
 石(前) 中(前) 亜(前)  
 岩(前) 倉(前) 倉(前)  
 松(前) 倉(前) 倉(前)  
 桜(前) 荒(前) 澄(前)  
 蓬(前) 瀧(前) 澄(前)  
 川(前) 川(前) 澄(前)  
 葛(前) 岡(前) 澄(前)  
 対(前) 岡(前) 澄(前)  
 下(前) 林(前) 貞(前)

浦村(青森) 高倉(青森) 松(青森)  
 光(前) 倉(前) 松(青森)  
 工(前) 一(前) 一(前)  
 中(前) 山(前) 木(前)  
 下(前) 海(前) 鳴(前)  
 海(前) 千(前) 千(前)  
 沙(前) 片(前) 岡(前)  
 荒(前) 松(前) 松(前)  
 瀧(前) 澄(前) 澄(前)  
 川(前) 川(前) 佐(前)  
 佐(前) 々木(前) 々木(前)  
 木(前) 相(前) 川(前)  
 木(前) 順(前) 順(前)

## 保護司の異動

## ○退任保護司 長い間ありがとうございました。

(平成30年2月28日付け)

櫛引義弘(青森) 横内久子(青森) 横内久子(青森)  
 横内久子(青森) 横内久子(青森) 横内久子(青森)  
 村齊地佐々木(前) 上藤主木(前) 上藤主木(前)  
 上藤主木(前) 上藤主木(前) 上藤主木(前)  
 谷清(前) 篤重(前) 篤重(前)  
 小山内清(前) 清(前) 清(前)  
 北向清(前) 崎(前) 崎(前)  
 土嶋(前) 嶋(前) 嶋(前)  
 蜷正男(前) 正男(前) 正男(前)

(平成30年3月31日付け)

山口惠美子(青森) 久慈廣一(八戸) 工藤芳嗣(青森)  
 久慈廣一(八戸) 下久保正志(野辺地) 下久保正志(野辺地)

## ○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

(平成30年3月1日付け)

大柳正(前) 岐崎慎一(前) 岐崎慎一(前)  
 岐崎慎一(前) 岐崎慎一(前) 岐崎慎一(前)  
 木岩下見本(前) 木岩下見本(前) 木岩下見本(前)  
 岩宮河野(前) 岩宮河野(前) 岩宮河野(前)  
 三小野(前) 五十嵐(前) 五十嵐(前)  
 小野(前) 五十嵐(前) 五十嵐(前)  
 五十嵐(前) 五十嵐(前) 五十嵐(前)  
 蜷名(前) 蜷名(前) 蜷名(前)  
 木村(前) 豊治(前) 豊治(前)

島直(前) 加奈子(前) 岡田(前)  
 岡田(前) 光(前) 中熊(前)  
 中熊(前) 永(前) 工藤(前)  
 熊(前) 永(前) 毛利(前)  
 永(前) 工藤(前) 山(前)  
 永(前) 毛利(前) 鳥(前)  
 永(前) 工藤(前) 小川(前)  
 永(前) 毛利(前) 勉(前)

## ○保護司の異動

(平成29年11月30日付け) 奈良浩(河南) 宮城県泉保護区へ転属  
 (平成30年4月10日付け) 上田亜沙美(青森) 宮城県青葉保護区へ転属

## 更生保護関係団体の皆様 映画「君の笑顔に会いたくて」上映のために ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

法務省後援 映画「君の笑顔に会いたくて」は、県内では本年3月に弘前市、八戸市、青森市の順で上映されました。

前売券は900枚の販売を若干超え、多くの皆様にご鑑賞頂けたことと思います。

この映画上映のためのテレビCMの放送や映画上映を通して、少しでも更生保護のこころを広く伝えられたと考えております。

最後になりましたがこの映画のため、ご寄附を頂きました皆様、前売券を販売して頂きました皆様、そして上映実行スタッフの皆様に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

青森県映画上映推進委員会 会長  
青森県更生保護協会 理事長 中村 勝 弘



### 弘前地区上映会 上映日/H30年3月9日 会場/弘前市総合学習センター

当日は28名の保護司会員が午後4時半に会場へ集合、5時から準備に入りました。設営班、受付班、案内班、駐車場班に分かれて、会場入口にのぼり旗を設置しました。また、短時間での会場の座席設営に苦労があった設営班は、青森地区から青森県保護司会連合会の天内会長（県映画上映推進委員長）・鬼柳主事（映画上映推進委員）ほか3名の応援を頂きましたので、とても助かりました。心配された駐車場の混乱もなく、適切な誘導により乗り切ることができました。上映会では、前売り券は181枚の販売で、約160名が鑑賞しました。



上映会にて

### 八戸地区上映会 上映日/H30年3月10日 会場/八戸市公民館ホール

上映会は地区7市町村及び関係11団体の後援をいただき、小林眞八戸市長を名誉会長として取り組み、関係団体・保護司それぞれの皆さんのが前売り券の販売を一生懸命してくださいました。

当日はたくさんの方が来場くださいり、多くの方に保護司活動を理解してもらいうれしく思います。

上映会では、前売り券は440枚の販売で、約360名が鑑賞しました。



上映実行スタッフ一部の皆さん

### 青森地区上映会 上映日/H30年3月11日 会場/アピオあおもり

青森地区映画上映推進委員会（天内委員長）が発足したのは昨年の11月。その後、慌ただしく準備がスタート。当初会場の都合で午後しか予約できませんでしたが、1月に入ってから午前も可能となり、2回上映することにしました。関係団体の皆様にも前売券の販売割り当てをお願いし、ようやく279枚を販売しましたが、実際鑑賞した方は、約140名程でした。少し残念でした。

この映画の主人公のような熱血保護司にはなれませんが、関係団体の結束と更生保護の一役になったことだと思います。



上映実行スタッフ一部の皆さん

# 第39回 青森県更生保護大会

〈八戸地区大会〉

日時/平成29年11月14日(火)

会場/八戸市公会堂



「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、地方公共団体や民間団体との連携をこれまで以上に強化していくことが求められています。

大会宣言文より(一部抜粋)



受付でのおもてなし 八戸地区保護司会・更生保護女性会のみなさん



広陵高校バトン部によるバトントワーリング



法務大臣表彰(保護司) 受彰者  
(青森)横田 文信 (青森)神 勇 (弘前)八代 耕四郎 (弘前)齋藤 玲子  
(八戸)加藤 清蔵 (八戸)奥山 能久 (河南)前田 利正 (五所川原)村元 範子  
(五所川原)佐藤 俊吉 (上十三)奥谷 幸子 (野辺地)松尾 幸一 (むつ下北)高橋 英子



講演 仙台ダルク代表 飯室 勉 氏  
「薬物依存症者からのメッセージ」



## 平成30年度 第40回 青森県更生保護大会

予告

開催日/11月20日(火) 会場/藤崎町文化センター  
担当保護司会・南黒地区 〈黒石市・藤崎町・田舎館村〉

次の方々から淨財が寄せられました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

〈平成29年9月1日～平成30年2月28日〉

〈100万円〉	株式会社 藤本建設
〈10万円〉	宮崎 春子
〈8万円〉	山口 正春
〈5万円〉	中村 勝弘 千葉 満一郎
〈4万円〉	川嶋 勝美 藤井 洋一郎
〈3万円〉	田邊 孝美 石田 恒久
〈2万円〉	石田 憲久 島崎 正美
〈1万円〉	武田 隆一 柿 雅美
〈5千円〉	日専連青森女性部会 清水 邦博 木田 雄義
	源新和彦 司子
	沼田桃子 谷恵司
	大坂健藏 浦順子
	津島弘美 鎌田喜代志
	天内修美 遠間善
	半天田秀江 加川弘史
	中村盛江

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

〈平成29年9月1日～平成30年3月31日〉

【普通会員】	〈5千円〉 中村 盛江
	〈1千円〉 浅井 良子
	佐藤 夕ヶ
	青森県内保護司 566名

【賛助会員】 〈1万円〉 宗教法人 常現寺

(更)あすなろ 寄附者御芳名

〈平成29年9月1日～平成30年2月28日〉

〈10万円〉	青森地区保護司会
〈3万円〉	青森地区更生保護女性会「愛の泉」
	鈴木道行
〈2万円〉	相澤美保
	小野知行
〈1万円〉	おいらせ町地区更生保護女性会
	青森地区更生保護女性会
	木崎由紀子・関一宇
〈5千円〉	春嶺俳句会

映画「君の笑顔に会いたくて」  
上映協賛金御芳名

〈10万円〉	有限会社 三和堂
〈5万円〉	黒瀧信行
〈3万円〉	協同組合タッケン
	千葉 満・佐藤 玲恵子
〈2万円〉	成田 正義・山口 正春
	大坂 健藏・石田 憲久
〈1万円〉	青森ヤクルト販売株式会社
	田邊 孝美・藤井 洋一郎
	川島 芳正・石田 恒久
	源新和彦・沼田 桃子
	鎌田 喜代志・鈴木 雄史

青森保護観察所ニュース

# 国の再犯防止 推進計画の概要

## 地方公共団体の役割分担も

平成29年12月15日、国による再犯防止推進計画が閣議決定されました。

地方公共団体は、再犯の防止等に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の地域の状況に応じた施策を策定し、実施する責務があることや、地方公共団体における再犯の防止等に関する施策の推進に関する計画（地方再犯防止推進計画）を定めるように努めなければならならないことが明記されています。今後、同計画の策定へ向けた協働・支援等を積極的に推進していく予定です。

国民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るため、今後5年間で政府が取り組む再犯防止に関する施策を盛り込んだ初めての計画

### 5つの基本方針

- ①誰一人取り残さない社会の実現に向け、国・地方公共団体・民間の緊密な連携協力を確保して再犯防止施策を総合的に推進
- ②刑事司法手続きのあらゆる段階で切れ目がない指導及び支援を実施
- ③犯罪被害者等の存在を十分に認識し、犯罪をした者等に犯罪の責任や犯罪被害者の心情等を理解させ、社会復帰のために自ら努力させることの重要性を踏まえて実施
- ④犯罪等の実態、効果検証・調査研究の成果等を踏まえ、社会情勢等に応じた効果的な施策を実施
- ⑤再犯防止の取組を広報するなどにより、広く国民の関心と理解を醸成

### 7つの重点事項

- ①就労・住居の確保
- ②保健医療・福祉サービスの利用の促進
- ③学校等と連携した修学支援の実施
- ④特性に応じた効果的な指導の実施
- ⑤民間協力者の活動の促進、広報・啓発活動の推進
- ⑥地方公共団体との連携強化
- ⑦関係機関の人的・物的体制の整備

### 計画を着実に実施することで、政府目標

(平成33年までに2年以内再入率を16%以下にする等)を確実に達成し、国民が安全で安心して暮らせる「世界一安全な日本」の実現へ